

Nagomi Orchestra

なごみ管弦楽団

第17回

定期演奏会

2023年9月24日(日)

13:45 開演 (13:00 開場)

調布市グリーンホール 大ホール

シベリウス

交響詩「フィンランディア」作品26

モーツァルト

交響曲 第38番 ニ長調 K.504「プラハ」

チャイコフスキー

交響曲 第2番 ハ短調 作品17「小ロシア」

指揮 柳橋 明徳

入場
無料

なごみ管弦楽団 第17回 定期演奏会

ご挨拶

「名曲をたのしく、なごやかに」なごみ管弦楽団はお陰様で結成 17 年目を迎えます。今年の演奏会のテーマは「音楽で旅をする」。秋のひととき、皆様のご来場をお待ちしています。

「音楽で旅をする」 さあ、音楽で旅をしてみましょう!

1 曲目のフィンランディアはフィンランドを代表する作曲家、シベリウスの作品。森と湖の国、サンタクロースとムーミンのふるさとのフィンランドは、12 世紀頃からスウェーデンに支配され、18 世紀以降はロシアの圧政下にありました。19 世紀になってフィンランド国内で愛国独立運動が高まった中で作曲されたのがフィンランディアです。フィンランディアの中間部の美しい旋律は「フィンランディア賛歌」として親しまれ、フィンランドの第二の国歌ともいわれています。

2 曲目はモーツァルトの交響曲第 38 番、「プラハ」。チェコの首都であるプラハの旧市街は中世の美しい建物が多く、市全体が世界遺産に登録されている世界で唯一の街。モーツァルトを描いた映画「アマデウス」のロケ地にもなりました。モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」は、プラハで大ヒット。「ぜひプラハにきてください」と熱望され、プラハに招かれたときに初演したのが交響曲第 38 番です。オペラ「フィガロの結婚」は、貴族を揶揄する内容を含んでいたため、当時ハプスブルク家に支配されていたプラハの人々の溜飲を下げたのかもしれないですね。

3 曲目はチャイコフスキーの交響曲第 2 番。チャイコフスキーは妹アレクサンドラの嫁ぎ先であるウクライナのカミヤンカが気に入り、たびたび訪れていました。そしてウクライナの民謡をこの作品に取り入れたことから、チャイコフスキーの友人が「小ロシア(ウクライナの旧称のひとつ)」の愛称を献呈しました。チャイコフスキーはこの他にもカミヤンカ滞在中に多くの作品を書きました。チャイコフスキーにとって、カミヤンカは作品を生み出す源泉のような存在だったのでしょね。



なごみ管弦楽団

「なごやかな雰囲気」を目指し、2006 年に結成。活動方針は「名曲をたのしく」演奏すること。合奏初心者やブランクのある人、団を掛け持ちしているにも少ない負担で楽しめるオケでありたいと願っている。年 1 回の定期演奏会を目標に隔週日曜日の午前中に活動している。現在、20 代から 70 代まで幅広い年齢層の団員が在籍する。※当団では、バイオリン、ピオラ、コントラバスの団員を募集しています!

※発熱等の体調不良の場合はご来場をお控えいただきますようお願いします。

交通のご案内 【調布市グリーンホール】

住 所: 東京都調布市小島町2-4-7-1
T E L : 042-481-7611
京王線調布駅広場口から徒歩1分

お問い合わせ

T E L : 080-7531-9792 (柳橋)
E-mail : nagomioche@hotmail.co.jp
U R L : <https://nagomiorch.com/>

HPIはこちら▼

